

# ウィーン大学生 インターンシップ体験レポート



◆ウィーン大学日本学科生 2 名が、4 週間、区内でインターンシップ実習を行いましたので体験レポートをご紹介します。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



## トルステン・シーグハルツライトナー （24歳）

- ・ウィーン大学で日本学と韓国学を勉強しています。
- ・趣味は音楽、料理、出かけることです。
- ・大学卒業後は、経営大学院で勉強する予定です。

私は2018年7月30日から8月24日まで、荒川区役所でインターンシップ研修生として働かせていただきました。このインターンシップには様々な仕事があるので、たくさん経験が得られました。特に日本で働く事と日本に住む事についてよく勉強しました。

1週目はゆいの森と言う図書館でお手伝いしたり、勉強したりしました。貸し出しカウンターや保育園で仕事しながら図書館システムと荒川区の区民について勉強できました。そして、区民と接して面白い会話したこともありました。

2週目は保育園で子供と遊んだり、教育制度について学んだりしました。その時私は3歳の子供に驚きました。3歳の子供だったのにひらがなも読めました。オーストリアにはめったにいません。

3週目荒川区の見学させていただきました。日暮里と南千住の案内をしてくださいました。お寺や商店街などの伝統的な建物を見て、説明して荒川区の歴史について勉強できました。リサイクルセンターでは、日本とオーストリアのリサイクルの方法もゴミを捨てる方が違うことに気づきました。それから、ゴミから風鈴を作りました。ケーブルテレビの見学では、手伝いをしながら色々な質問をしました。区役所での翻訳で難しいときは、職員が優しく教えてくれました。日本語が上達できそうで、ちょっと残業もしました。

4週目、来日したウィーンの高校生と観光しながら手伝いました。高校生は驚きやすく、感動を見せてくれました。そしてウィーンの高校生と東京江戸博物館と東京スカイツリーに行きました。その時、皆は色々な質問して、日本の歴史と東京についてだんだん興味が持ちました。鎌倉に行ったときは、私も勉強できました。最後の日茶道と生け花について勉強しました。高校生と仲良くできましたからよく一緒に笑いました。皆に日本について楽しくて教えることは私にとって本当に楽しかったです。

区役所の職員はとてもやさしくて、いつも困ったことがあったら手伝ってくれて、感謝申しあげたいです。4週間のインターンシップは本当に早く終わりました。日本学を勉強する方のために、このインターンシップは本当にいいと思います。ウィーン大学の後輩には、来年是非申し込むよう勧めたいです。まだ将来の仕事決めていない人は色々な仕事を見られます。

## 事務局員から見たトルステンさんの一面

トルステンさんは、社会科学分野に明るく、例えば区役所を案内した時に各課業務について説明すると、オーストリアではどの機関がその業務を担っているかなどを逆に説明してくれました。また、後半のホームステイ先の方からは、毎日一緒に晩酌がとても楽しみだったとコメントをいただくなど、各所で良好な関係を築きました。加えて、力持ちでもあり、茶道華道教室の片づけの際は活躍でした。



## レベッカ・ブルッガー（21歳）

- ・ウィーン大学日本学三年生です。
- ・趣味は音楽鑑賞、ダンス、旅行、ライブに行くことなどです。
- ・将来は日本で就職活動して、観光案内人もしくは翻訳者あるいは先生として働きたいです。

7月30日から8月26日まで荒川区役所文化交流推進課でインターンシップをさせていただきました。30日に区役所を案内していただいて、31日から一週間ゆいの森あらかわで働かせていただきました。新しくできてきれいな図書館の貸し出し・返却カウンターや総合受付など、様々な分野の仕事に携われて大変に勉強になりましたけれども、子供が大好きな私にとっては、託児室でのお手伝いが一番楽しかったです。オーストリアの図書館と違って、幼児を預けるところがあって驚きましたが、子供たちとの遊びタイムやお話会に参加ができて嬉しかったです。図書館の仕事を説明して、やらせてくださったDさん、託児室の先生方々、お世話になった図書館の職員に感謝を申し上げます。

上記の通り、子供が好きなので、東尾久保育園での一週間の仕事もとてもいい経験になりました。子供たちが初日から迷わずに話したり、一緒に遊んだりしてくれて、とても嬉しくて感動しました。皆さんのおかげで楽しい一週間が過ぎて、お別れしたくなくなりました。Y先生、K先生、そしてひまわり組の子供たち、どうもありがとうございました。是非また一緒に遊びましょう。

三週目はリサイクルセンター、エコセンター、遊園地から荒川区役所の議場まで、様々な所を見学させていただきました。大変にお世話になりましたが、個人的に一番面白かったのは荒川ケーブルテレビの見学でした。見学だけでなく、短い動画を撮らせていただいて、これからもその動画を観たり、友達に見せたりして、荒川ケーブルテレビを思い出すのを楽しみにしています。南千住、日暮里、谷中を案内してくださった方にも感謝を申し上げます。昨年一週間ぐらい南千住に泊まっていたり、少し荒川区を歩いたりしたけれども、そんなに歴史を教えてくれる所がたくさんあるのは初めて知って、驚きました。

そして、8月20日から8月24日まではウィーンから来た高校生と一緒に東京、鎌倉、江ノ島の観光や浴衣体験や茶道体験など、楽しい経験がたくさんでき、高校生にも楽しんでもらえたらいいなと思います。このインターンシップができたおかげで、さらに日本語の能力を上げられた上に毎日様々なことを学び、楽しい経験たくさんでき、これからも一所懸命日本語の勉強を頑張りたいと思えるようになりました。荒川区役所の皆様、色々どうもありがとうございました。大変にお世話になりました。

最後に、8月前半のホストファミリーのTさんたち、8月後半のホストファミリーのSさんたちにも心より感謝を伝いたいです。短い期間でしたが、いい思い出がたくさんできて、また会えるのを楽しみにしています。

### 事務局員から見たレベッカさんの一面

レベッカさんの敬語も交えた流暢な日本語に驚きました。また、ウィーンの日本食レストランでのアルバイト経験からか、話を聞く時に相手の目を見て相槌を打ったり、物を受け取る時は両手で受け取ったりと、所作も日本人のようでした。将来日本で働きたいとのことですが、どの職場へ行っても馴染むことができるのではないかと思います。東尾久保育園では1人の園児がレベッカさんに初恋という素敵なエピソードも！